

# 公共施設適正配置計画（案）

## Ⅲ. 社会教育施設

### 2. 市民会館

#### (1) ホール・公会堂

固定席を備えたホール機能を有する施設であり、市民に質の高い文化・芸術に触れる機会や、様々な活動の場や機会を提供し、地域文化の振興を図るための拠点として、市内に5館設置しています。

番号	施設名称	複合機能	地域	備考
1	郡上市総合文化センター	生涯学習・公民館・図書館	八幡	
2	白鳥文化ホール	-	白鳥	
3	たかす町民センター	生涯学習・公民館・資料館	高鷲	
4	日本まん真ん中センター	生涯学習・公民館・図書館	美並	
5	やまと総合センター	体育館	大和	

#### ① 施設の概要及び現状

<p>1 郡上市総合文化センター</p> 	<p>昭和 63 年の建築であり、躯体の老朽化が進んでいます。</p> <p>市内最大の収容能力（604 席）を持つ文化ホールのほか、中央公民館、図書館等の諸機能を併設する複合施設です。年間約 57,000 人（ホール及び各室等）の利用があり、文化ホールの稼働率は 18.5%、最も多い多目的ホールで 49%程度、その他の会議室等は概ね 30%前後となっています。主に市民の発表の場として活用されており、自主事業は行っていません。</p> <p>管理運営は市の直営で行っていますが、夜間や土日祝日の管理運営及び文化ホールの舞台業務は民間業者等に委託しています。</p>
<p>2 白鳥文化ホール</p> 	<p>昭和 59 年の建築であり、施設はもとより、冷暖房、音響、照明設備等の老朽化が進んでいます。また、ホールの天井は「つり天井」の構造となっています。</p> <p>ホールは 500 人の収容が可能（うち固定席 168 席）で、成人式や講演会、発表会など多人数の事業で利用されていますが、年間の利用は 67 件、延べ 6,300 人、稼働率 6.4%と低迷しており、ホール以外の部屋の稼働率も非常に低い状況です。</p> <p>管理運営は市の直営で行っています。</p>
<p>3 たかす町民センター</p> 	<p>平成 13 年の建築であり、耐用年数の到来まで 33 年あります。</p> <p>研修や会議の拠点として、収容能力 328 席の中ホールを持つ社会教育施設としての役割を担っています。平成 20 年度より高鷲地域公民館となっているほか、平成 28 年からは館内に「たかす開拓記念館」を併設しています。高台に立地しており、冬の積雪なども相まってホールの稼働率は 6.1%と低い状況です。</p> <p>管理運営は市の直営で行っています。</p>
<p>4 日本まん真ん中センター</p> 	<p>平成 9 年の建築であり、躯体の老朽化が進んでいます。</p> <p>収容能力 500 席の文化ホールのほか、図書館や振興事務所（教育委員会関係）等の諸機能を併設する複合施設です。JAZZ コンサート、映画鑑賞会などの自主事業を実施しており、図書館や体験講座などを含め、延べ約 21,300 人の利用があります。稼働率は、多目的ホールでは 7.7%、最も利用の多い会議室でも 23%程度となっています。</p> <p>管理運営は市の直営で行っています。</p>

<p>5 やまと総合センター</p> 	<p>平成 11 年の建築であり、躯体の老朽化が進んでいます。</p> <p>ステージと可動式の観覧席（300 席）を備えたアリーナのほか、トレーニングジム、ギャラリー展示を有するなど、文化機能と体育館機能を併設する複合施設です。体育館機能が主であり、ホール機能としての稼働は限定的ですが、年間約 7,000 人がホールとして利用しています。</p> <p>平成 27 年度から、スポーツで地域振興を促進することを目的として設立された N P O 法人による指定管理を開始しており、徐々に施設の利用状況は向上しています。</p>
--	--

## ② 施設の分析・評価

公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性・必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、以下のように分析・評価しました。（分析結果については資料編を参照。）

機…機能の分析・評価 施…建物の分析・評価 管…管理運営に関する分析・評価

<p>1 郡上市総合文化センター</p> <p>機能 施設 継続 継続</p>	<p><b>機</b> ・市内最大規模のホールを有するなど文化活動の拠点であると同時に、八幡地域における生涯学習の中核としての機能を担っていることから、その機能の継続が必要です。</p> <p><b>施</b> ・耐震基準は満たしているものの、建築から 30 年経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいることから、将来を見据えて計画的な改修が必要です。</p> <p><b>管</b> ・文化ホールについては、市で最も高機能な舞台設備を有していながら自主事業がほとんど行われていないことから、民間活力を活用した管理運営手法の導入の検討が必要です。</p>
<p>2 白鳥文化ホール</p> <p>機能 施設 統合 廃止</p>	<p><b>機</b> ・ホールを含め、施設全体として利用が非常に少ない状況です。小規模な講演会等は、近隣にある白鳥ふれあい創造館で対応可能です。</p> <p><b>施</b> ・老朽化が著しく、継続して使用するためには、つり天井の補強に多額の費用が必要となるほか、冷暖房、音響、照明等の各設備やトイレの洋式化等の更新・改修も必要です。</p> <p><b>管</b> -</p>
<p>3 たかす町民センター</p> <p>機能 施設 継続 検討</p>	<p><b>機</b> ・地域における生涯学習の拠点であること、歴史展示機能は地域の重要な資源であることから、その機能の継続が必要です。</p> <p><b>施</b> ・耐震基準を満たしており、比較的新しい建築であることから、継続的な使用が可能です。</p> <p><b>管</b> ・高鷲地域内だけでなく、市北部における文化活動の拠点としての活用が望まれることから、民間活力を活用した管理運営手法の導入について検討が必要です。</p>
<p>4 日本まん真ん中センター</p> <p>機能 施設 継続 継続</p>	<p><b>機</b> ・美並地域における文化活動や生涯学習の拠点となっていることから、その機能の継続が必要です。</p> <p>・当該施設内に設置される「円空研究センター」は、美並ふるさと館と同類の機能であり、集約化について検討が必要です。【⇒（美並ふるさと館の項）参照】また、地域内にある南部コミュニティセンターは施設の老朽化が進んでおり、その機能の集約を視野に入れての検討が必要です。【⇒（南部コミュニティセンターの項）参照】</p> <p><b>施</b> ・耐震基準は満たしているものの、施設・設備の経年劣化が進んでいます。</p> <p><b>管</b> ・さらに利用を高めるため、民間活力を活用した管理運営手法の導入について検討が必要です。</p>

<p>5 やまと総合センター</p> <p>機能 施設</p> <p>継続 継続</p>	<p><b>機</b> ・施設の稼働率は高く、大和地域以外の利用をはじめ、市外・県外利用者、合宿利用者もあり、施設の有効性は高いと言えます。</p> <p>・市のスポーツ行政の中核的機能および大和地域の文化活動の拠点としての機能を有していることから、その機能の継続が必要です。</p> <p><b>施</b> ・耐震基準は満たしているものの、施設・設備に経年劣化が見られます。</p> <p><b>管</b> ・現状の指定管理者による管理運営が利用の向上に一定の効果を挙げていることから、これを継続することが妥当です。</p>
--	---

<p>市民会館 (ホール・公会堂) 全体</p>	<p>・公立文化施設は、市民の文化芸術活動や生涯学習活動の場・機会を提供することに加え、市民の文化ニーズに応じて質の高い芸術・文化に触れる機会を提供すること、市民の創造的な芸術・文化活動を支援する役割が求められています。</p> <p>・本市の文化施設については、市民に文化芸術活動等の場を提供する役割は機能していますが、市民の文化ニーズに応え、質の高い芸術・文化に触れる機会の提供については今後の課題となっています。</p> <p>・市民主体の芸術・文化活動の場の提供に加え、市民ニーズを捉えた質の高い鑑賞事業などを定期的で開催するなど、効果的かつ効率的な管理運営のあり方について検討するとともに、現下のホール機能の稼働状況に鑑み、5つの文化ホールの必要性について検討が必要です。また、受益者負担の適正化への取り組みも必要となっています。</p>
----------------------------------	--

### ③ 市民からの意見・提案（適正配置にあたっての留意事項）

施設の分析・評価に基づき、市が導き出した施設分類全体の方向性、及び個々の施設の対応方針に対して、市民の皆さんから次のようなご意見・ご提案が示されています。

- 5カ所の文化ホールの集約化については基本的に理解されたものの、施設の集約化に際しては、公共交通や駐車場等、交通アクセスの確保についての意見が多くあった。
- 一方、施設の集約化により地域の活力が低下しないよう、地域バランスを考慮することの指摘があった。
- 施設における自主事業の実施がほとんどなく、市民に質の高い文化とふれあえる機会を充実させることが必要であり、そのために、民間活力を活用した管理運営方法の導入を図る必要がある。
- 使用料等の見直しについては、高額でないならばやむをえない。

### ④ 対応方針

#### 施設分類全体の方向性

市民の芸術・文化活動の練習・発表の場の機能に加え、質の高い芸術・文化に触れる機会を提供する文化振興のための拠点として必要な施設であるものの、各施設の利用実態や稼働率、管理運営費の状況などから、市内5カ所の文化ホールについては、地理的な状況や交通環境などを考慮し、2カ所程度への集約化について検討します。

今後も文化ホールとして継続する施設については、設備を含め計画的に改修を行い、長寿命化を図るとともに、質の高い芸術・文化の鑑賞の機会を定期的で開催するなど、文化創造の役割を果たすため、民間活力を活用した管理運営手法の導入について検討し、効果的かつ効率的な管理運営に努めます。

## 施設別の対応方針

### 1 郡上市総合文化センター

- 八幡地域の生涯学習、文化活動等の拠点機能も含めとして、当該施設の有する機能を継続します。
- 施設は、予防保全を含め計画的に改修を行い、長寿命化を図ります。
- ホール機能を十分に活かすことができるよう、指定管理者制度の活用を検討します。

### 2 白鳥文化ホール

- 老朽化が著しいこと、利用実績が極めて低いことから、当該施設は廃止します。
- ホール機能は、利用の規模により近隣の公共施設又は近隣地域の公共施設を活用することとし、会議室の機能は白鳥ふれあい創造館へ統合します。

### 3 たかす町民センター

- 施設は比較的新しく、必要な修繕を行いながら高鷲地域の生涯学習の拠点施設として当面継続します。
- 利用実績が少ないことから、市北部の文化活動の拠点施設としての活用を検討します。
- 民間活力を活用した管理運営手法の導入を検討します。

### 4 日本まん真ん中センター

- 美並地域の生涯学習の拠点施設として継続します。
- 当センター内の「円空研究センター」は美並ふるさと館との役割分担を見直し、必要に応じ美並ふるさと館への集約を検討します。
- 美並南部コミュニティセンターの機能を当センターへ集約します。
- 施設の管理も含め、民間活力を活用した管理運営手法の導入を検討します。

### 5 やまと総合センター

- 基幹体育館として、また、大和地域の拠点体育館として、さらには同地域の文化ホール機能を担う施設として継続します。
- 施設は、予防保全を含め計画的に改修を行い、長寿命化を図ります。

## ⑤ 展開スケジュール

対象施設	課題事項	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～2027年度
郡上市総合文化センター ※Ⅲ.4生涯学習施設を再掲	長寿命化及び管理運営手法の検討	長寿命化計画の検討 管理運営手法の検討		方針に基づく実施		
白鳥文化ホール	施設の廃止	機能を白鳥ふれあい創造館に統合し、 廃止について検討を行う。		廃止		
たかす町民センター ※Ⅲ.4生涯学習施設を再掲	施設のあり方及び管理運営手法の検討	検討		検討結果に基づく対応		
日本まん真ん中センター ※Ⅲ.4生涯学習施設を再掲	管理運営手法の検討	管理運営手法の検討		検討結果に基づく対応		
やまと総合センター ※Ⅳ.1体育館を再掲	継続	継続				

## ⑥ 概算事業費 調整中